

射水市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗状況

1 計画で目指す将来像

本計画における目指す将来像は、第2次射水市環境基本計画に準拠し、以下のとおりとします。

『未来につなげる豊かな自然 協働で創る環境のまち いみず』

2 温室効果ガス排出量の削減目標

本市の温室効果ガス排出量の削減目標は、2030（令和12）年度までに基準年である2013（平成25）年度比で50%削減とします。

[千 t-CO₂]

部門	基準値(H25年度)	現状値(R4年度)	目標値(R12年度)
産業部門	665	474	337 (▲49%)
業務その他部門	190	119	73 (▲61%)
家庭部門	201	167	102 (▲49%)
運輸部門	203	170	120 (▲41%)
廃棄物部門	17	10	10 (▲43%)
森林吸収等			▲4
合計	1,276	940	638 (▲50%)

温室効果ガス排出量は、基準年度（平成25年度）の1,276千t-CO₂に対し、現状値（令和4年度）は940千t-CO₂であり、約26%の削減となっており、概ね順調に推移しています。

3 5つの基本方針の指標及び目標値

5つの基本方針について、それぞれの指標及び目標値を以下に示します。

(1) 再生可能エネルギーの利用促進

指標	基準値(R2年度)	現状値(R6年度)	目標値(R12年度)
市内の太陽光発電設備(10kw未満)の導入件数累積	1,542件	1,775件 (R5年度)	3,342件以上
市内の再生可能エネルギー導入量(年間発電量)	97.5GWh	98.6GWh (R5年度)	145.6GWh以上
市有施設への太陽光発電導入件数・設備容量(年間発電量)	25件・220kW (249MWh)	38件・893kW (911MWh)	50件・880kW以上 (1,000MWh)

太陽光発電設備の導入件数及び再生可能エネルギー導入量は増加していますが、目標値の達成に向けて、更なる導入推進が必要となっています。

また、市有施設への太陽光発電設備の導入件数・設備容量は、民間提案制度を活用した太陽光発電設備整備事業の推進により、順調に増加しています。

(2) 省エネルギーの推進

指標	基準値(R2年度)	現状値(R6年度)	目標値(R12年度)
市内の電力使用量	1,005.6GWh	1,038.7GWh (R5年度)	735GWh以下
新築住宅に占める長期優良住宅の認定件数	52件/年	96件/年	100件/年以上
市有施設における温室効果ガス排出量	31,366t-CO2 (R3年度)	21,234t-CO2	22,982-CO2以下
公用車使用に伴う温室効果ガス排出量	81t-CO2 (R3年度)	73.7t-CO2	40t-CO2以下

市内の電力使用量が増加していますが、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に落ち込んだ経済活動が、令和5年度には本格的に回復したためと考えられます。

また、市有施設及び公用車使用に伴う温室効果ガス排出量は、いずれも減少しており、市有施設への太陽光発電設備の導入や公用車の電動化の取組推進によるものと考えられます。

(3) 脱炭素のまちづくり

指標	基準値(R2年度)	現状値(R6年度)	目標値(R12年度)
市内の電気自動車充電ステーション設置数	12箇所・13基 (R3年度)	25箇所・45基	17箇所・18基以上 (R9年度)
エコアクション21の新規登録事業所数	15社	13社	18社以上
市民参加による森づくり年間参加者数	389人 (R3年度)	183人	839人以上 (R9年度)

市内の電気自動車充電ステーション設置数は、設置箇所数が2倍、設置基数が3倍に増加しており、民間事業者と連携した市有施設への電気自動車充電インフラ整備事業の推進によるものと考えられます。

(4) 循環型社会の形成

指標	基準値(R2年度)	現状値(R6年度)	目標値(R12年度)
市民1人1日当たりのごみ排出量	1,085g (R3年度)	1,022g	983g以下 (R9年度)
リサイクル率	22.0% (R3年度)	19.6%	23.0%以上 (R9年度)

市民1人1日当たりのごみ排出量は概ね順調に減少していますが、リサイクル率も減少しており、ごみ排出量の削減率よりもリサイクル率の低下が上回っています。新型コロナウイルスの感染拡大を契機に市民のライフスタイルの多様化が進展したことやデジタル化の進展に伴う紙媒体の減少により、資源物の集団回数の実施団体数や収集量が減少し続けていることによるものと考えられることから、多様なライフスタイルに合った適切なごみの分別のための取組推進が必要となっています。

(5) 脱炭素型ライフスタイルの推進

指標	基準値(R2年度)	現状値(R6年度)	目標値(R12年度)
市内の電気自動車(軽)所有台数	47台 (R4年度)	111台	300台以上
公共交通の利用者数(万葉線)	89.5万人 (R3年度)	108.9万人	108.8万人以上 (R9年度)
公共交通の利用者数(コミュニティバス、AI オンデマンドバス等)	33.6万人 (R3年度)	39.1万人	45.0万人以上 (R9年度)
温暖化対策に関する環境講座の実施回数・参加者数	2回・60人 (H26年度)	11回・380人	4回・120人以上

市内の電気自動車(軽)所有台数及び公共交通の利用者数は、いずれも概ね順調に増加しています。

また、温暖化対策に関する環境講座については、従来の市政出前講座に加え、令和6年度から新たに、親子向け体験型環境講座であるECOキッズスクール事業を展開したことにより、実施回数・参加者数ともに大きく増加しています。